



教育

おおらか・さわやか・きわやかな大崎の教育

問 教育委員会管理課 ☎476-1111(401)

○中学校	全国	県	大崎町
『人の役に立つ人間になりたい』と答えた生徒	72.8	73.9	86.7
『ゲーム等を1日1時間以上しない』と答えた生徒	43.5	55.1	58.1
『携帯電話やスマートフォンを持っていない』と答えた生徒	23.5	36.8	37.1
『学校の授業以外で平日1時間以上の学習をしている』と答えた生徒	67.9	76.2	55.3
『学校の授業のグループで調べる活動』を『よく行った』『どちらかといえばよく行った』と答えた生徒	46.5	45.4	63.8
『学校の授業で【めあて・まとめ】が示されていた』と答えた生徒	32.9	63.1	64.8
『学習塾に通っていない』と答えた生徒	39.5	53.9	57.1
『いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う』と答えた生徒	72.1	76.3	85.7

まぶい窓おしえの庭 親身に聴く

NO.26 大崎町教育委員会教育委員 二見 いすず

『親の意見と冷や酒は、後で効く』私の父から何度も聞かされた言葉です。子どもの頃は『又、始まった』と、ほとんどきちんと聞いていませんでした。のちに、お酒が飲める年になり、冷や酒の美味しさを覚え、楽しく頂いた次の日、この『あとで効く』を二日酔いのひどい状態の中で、実感することになるのです。本当に、その時ではなく、後でいやというほど効くんですね、親の意見は。

親御さんとして、子どもに伝えておきたいこと、これだけは、どうしても、いろいろな想いがありでしょう。でも、話そうとすると、『同じことばかり言わないで』と、なかなか聞いてもらえないかもしれません。しかし、そこで怯まず、あきらめず、大事なことは何度も何度もくり返しくり返し伝える。この『くり返し、くり返し』が少しずつ心に染み入り、お子さんが大きくなったときに、『そういえば、何度も聞いたな』と思い出し、親の想いの深さをしみじみと感じるのではないのでしょうか。

ただ、嫌がる相手に、こちらの話に耳を傾けさせるのはなかなかですが、そういう時、こちらから話す前に、相手の話をじっくり聴くモードに切り替えてみてはいかがでしょうか。人は、聞いてはいるのですが、案外聴けていないようです。寄り添って、目を合わせて、手を取って、肩を抱いて、全身を耳にして、優しく、相手の声や表情にも心を配りながら、まずはじっくり聴いてみましょう。この聴くモードスイッチオンこそ、『親身に聴く』ということ。まさしく、『親の身になって聴く』誰よりも子を想う気持ちが深い親だからこそできる親子の大切な時間だと思います。いつの時も、問題解決の第一歩は『親身に聴く』このことから始まるのだと感じています。